

□■レポート■□

## 平成18年度全国環境研協議会騒音振動担当者会議

平成18年度全国環境研協議会騒音振動担当者会議(企画部会主催)が、9月19日(火)に愛知工業大学本山サテライトキャンパス(名古屋市千種区)で開催された。

愛知県環境調査センターが事務局を務め、名古屋市環境科学研究所と協力して会議の準備等を行った。

この会議は今年で7年目を迎えるが、全国の騒音振動に携わる担当者の情報交換や交流の場として大事な役割を果たしている。

今年度は、(社)日本騒音制御工学会30周年記念式典が愛知工業大学で開催されたこともあり、本会議に引き続き学会主催の『環境騒音に関する懇談会』(テーマ「Global Noise Policyと我国の環境政策」)が開催された。

講演は建築音響関係1件、新幹線騒音関係1件、騒音評価システム関係1件、振動行政関係1件と多岐にわたる発表がされた。建築音響では、床材料の遮音性能試験等の結果について報告がされた。新幹線騒音では、10kHz以上の高周波音の発生状況について報告された。環境騒音評価システムでは、道路交通騒音について、推定値と実測値とで高い相関を示す等の報告がされた。また振動行政では、今後の振動評価についての検討課題

等示唆に富んだ報告がされた。

終わりに次期開催事務局の東京都から、来年の積極的な参加をお願いするあいさつがあった。

今年度の会議の参加者数は、11都県4市1大学27名と例年より少なかったが、交流会の時間も参加者間で十分な意見交換等がなされた。

### 会議次第

#### 1. 主催者あいさつ

愛知県環境調査センター 坂部 孝夫

#### 2. 一般講演

##### (1)建築用床材料の建築音響性能について

愛知県環境調査センター 田中 進

##### (2)新幹線鉄道騒音高周波音等の発生事例

名古屋市環境科学研究所 樋田 昌良

##### (3)宮城県における環境騒音評価システムと検証結果について

宮城県保健環境センター 菊地 英男

##### (4)全身振動測定装置と今後の振動行政

東京都環境科学研究所 末岡 伸一

#### 3. 次期主催者挨拶

東京都環境科学研究所 末岡 伸一

(記：愛知県環境調査センター 田中 進)